

健康講座

『 M R I 検査について 』

(検査時の吸着事故防止)

M R I 検査の特徴

1. 検査中は大きな音がします
2. 検査時間が長くかかります
3. M R I の装置自体が
大きな・強力な磁石で出来ています
(24時間ずっと磁石の効力があり、いつでもくっつきます)



M R I 検査が受けられない方

1. 心臓にペースメーカーを装着している
2. 人工内耳を装着している
3. 体内に金属物が入っていて、その金属が動く可能性がある
4. 長時間静止することが困難である

※ 赤字で示した方は、M R I がおおきな磁石であることにより

- ・ 装着している機械などが故障する
- ・ 金属が動いて体内を傷つける
- ・ 金属が熱をもって熱くなり火傷をする

などが起こり、命の危険にさらされる可能性があるからです

MRI 検査が 受けられない可能性がある方

1. 脳動脈クリップ・刺青・針治療の体内針
などが入っている
2. 妊娠中や妊娠の可能性がある
3. 閉所恐怖症である
4. カテーテル治療や手術を受けたことがある
5. インシュリンポンプを装着している
6. 磁石式の入歯をしている
(消磁される可能性があります)

検査室へ持って入れないもの

(患者様に注意していただくもの ①)

1. 金属製のもの

時計・めがね・補聴器・入れ歯・鍵・小銭・
使い捨てカイロ・
アクセサリ（指輪・ネックレス・イヤリング・ピアス・
ヘアピン・ネイルケア用品など） など

※ 1 に示したものは、MRI装置へくっついたり
それ自体が故障したりします
吸着すると人力では取れなくなる事もあり
装置の故障の原因になります

検査室へ持って入れないもの

(患者様に注意していただくもの ②)

2. 金属の付いている下着

ホック・ファスナーのついているもの・
スリッパ・ブラジャー など

3. 磁気を使用した製品

キャッシュカード・クレジットカード・
テレホンカード・診察券・エレキバン など

検査室へ持って入れないもの

(患者様に注意していただくもの ③)

4. 火傷の原因となる可能性のあるもの

チタンテープ・ニトログリセリン貼付剤・
アルミ表装の経皮吸収剤パッチ・シップ・
コンタクトレンズ・アイシャドウ・チーク・
マスカラ・刺青遠赤外線効果のあるサポーター
や下着 など

※ 2・3・4 に示したものは
データの消失、火傷、目の障害
などが起こる可能性があります

MRI検査の特徴

3. MRIの装置自体が
大きな・強力な磁石で出来ています



上のこの特徴により

MRIの写真は金属があると
ゆがんでみえなくなります

検査室へ持って入れないもの (とくに職員が注意するもの ①)

1. M R I 専用ではないストレッチャー・
車椅子・点滴台 など
2. 酸素ボンベ・心電図モニター などの
重篤な状態の患者様の検査時に必要なもの

※ これらの物を持ち込んでしまうと

- ・ 患者様や職員が大怪我をする
- ・ 装置が破損したり、故障したりする

上記のような大事故につながる可能性があります
破損や故障の程度により

2週間から1か月間程度、装置を動かす事が出来なくなります

検査室へ持って入れないもの (とくに職員が注意するもの ②)

3. ハサミ・駆血帯・聴診器・体温計
筆記用具 など

※ これらの物は
装置の重大な破損や故障にはつながりにくいですが
怪我をしてしまう事故が起こる可能性があります